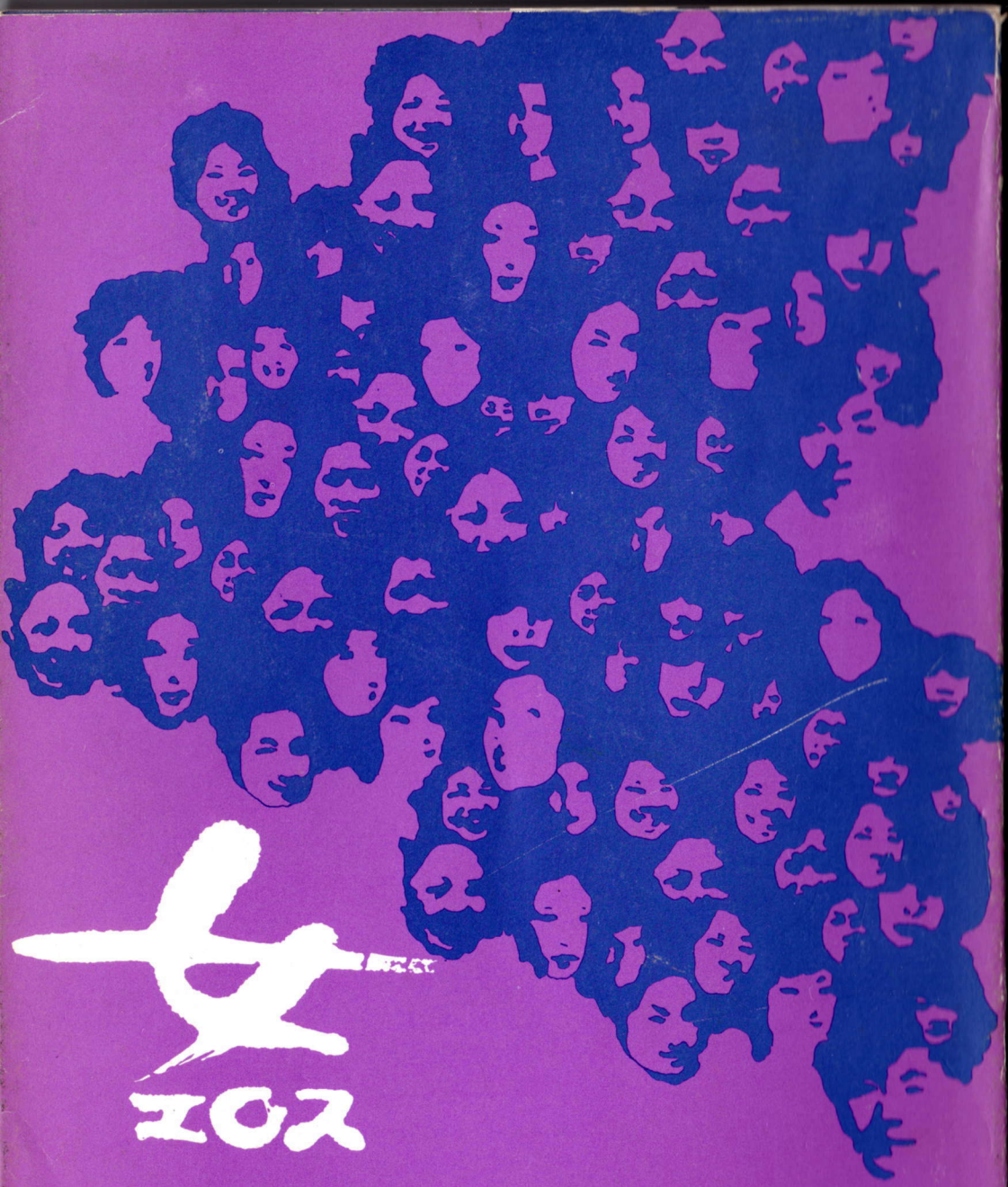

女エロス

No.15 特集—仕事とくらし

女・エロス 15 目次

特集

仕事とくらし

生きていればきっと…… 三井 絹子 5
女の仕事は雑用か 町野 美知 20
医療の内部から ——くやしさと怒りをバネに 山野香魚子 35
非婚の母たちが生きる時 樽石 真弓 46
八百屋、それから 今長 充子 59
女二人の製版屋 宮崎 暁美 69
めし屋のたたかい もりもり 82
養生日記 河原 純子 94

座談会

仕事てなんや 上田育子／岡元信恵／奥村宏子／小堀恵美子／金曄／人見ジュン子／深江誠子 110

連載

裁かれる女〈9〉〝働き続ける権利〟から〝平等に人間らしく働く権利〟へ 中島 通子 126
女の文化〈4〉 幻想交換のフォークロア 河野 信子 137

シリーズ・性〈1〉 性の復活 橋本 幸子 170

報告

息の長い取組みが必要 六坂 安美 185

創作

詩 シルヴィアプラスは 真北 恵子 34
白夜 てらだまりこ 34
リブ女いろはかるた あずみ洋子／鈴木真樹 106
マンガ 青女哀歌 若尾緋呂深 133

映画評

映画の中の結婚幻想 西垣内淑子 146

おんな狙撃兵

叛コンピュータ 森 冬實 152
「女権拡張」の甘い罠 河野 環 158
女教師の新たな危機 あおいせつこ 162
「イエスの方舟」と家イデオロギー 深江 誠子 166

アピール132, 187／おんなかわら版189／書評157, 161, 188
合評会のおしらせ145／編集後記192
表紙・扉絵・佐々木道子／題字・山内静香／特集カット・小笠原由美
カット・くすだひろこ／目次写真・成恒充子

特集＝仕事とくらし

私たちをすっぽりと飲みこんでしまっている怪物——家族。それは、あまりにもその状態に慣らされてしまっているために、制度としても、意識としてもとらえがたい。しかし、この怪物の中では、もう息ができない、と私たちは身じろぎ始めた。13号では既成の枠からはみ出してしまう私たちの生き様を、14号では家族の絆から解き放たれた自立自存のつながりを模索した。この自立自存のつながりは、経済的自立が不可欠であることを踏まえておきたい。

とはいえ、「主婦かキャリアウーマンか」の二者択一しかないと女たちに思わせるほど、女にとって働く情況はきつい。くらしが重くのしかかる。

男は、専業主婦という家事専従者にくらしを預けて仕事に専念できるが、女は、くらしの雑事に、産む性に、「母性」にからまれて、男のように一途には走れない。打ち込めない。女のこの実感は、人の生き方の形態を、男女に分けて規制する「性別役割分業」からくるものであり、これが女差別の根幹であることをすでに発見している。そしてそれは、人の生活を、稼ぐこととくらしとに分けている姿でもあり、また日常生活を「合理化」し、くらしが搾取されている現実でもある。

現在、90％の人たちが自分のくらしを中流と思っているが、しかしこの意識は、物質的な「豊かさ」をその物差しとしていはしないだろうか。人としてのトータルな生をとりもどすのは、仕事とくらしの分業構造にメスを入れ、その矛盾を変えていく方向にしかないと、私たちは考える。今号はそれを追及してみた。